

RT16-GC R12/134a 兼用簡易ガスチャージキット 取扱説明書

この度は、RT16-GC R12/134a 兼用簡易ガスチャージキット をお買い上げいただきありがとうございます。必ずこの「取扱説明書」の内容をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。

■ 本製品の用途

車両エアコンライン内に R12 および R134a サービス缶内容物（冷媒ガス・オイル・蛍光剤・漏れ止め剤等）を低圧側から充てん（注入）する工具です。構造は簡素で容易に清掃が可能です。

*本製品は充てん（注入）のみを対象としています。圧力ゲージは無く、低圧側のみの接続となるため作業内容によってはマニホールドゲージと併用して使用してください。



警告

下記内容をお守りください。重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 車両エアコンの知識を有する修理経験のある専任の作業者が使用してください。誤った使用は製品や車両の破損および重大な事故を起こす危険があります。
- ・ 冷媒ガスや缶内の溶剤が周囲に飛散する可能性があります。目や皮膚に付着すると失明や炎症・凍傷を起こす危険があります。作業時は保護メガネ・保護マスク・保護手袋等の安全防具を着用してください。
- ・ 作業中にエンジンの回転物に手や体の一部が巻き込まれないよう注意してください。
- ・ 開封したサービス缶は使い切ってください。冷媒ガスは絶対に大気の解放しないでください。残った場合は回収してください。
- ・ 本製品を改造・分解しないでください。
- ・ 子供の手の届く場所に保管しないでください。



注意

下記内容をお守りください。負傷や物的損害の可能性があります。

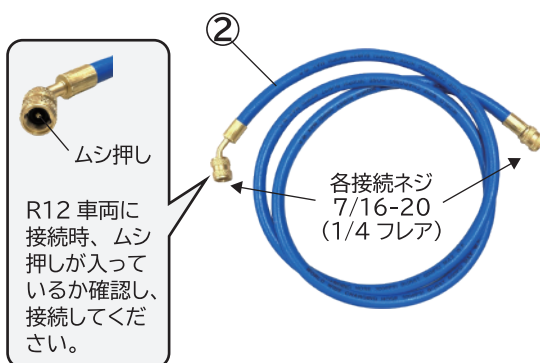
- ・ 使用前に必ず冷媒ガスの種類を確認してください。誤って充てんするとエアコンシステムの故障の原因になります。
- ・ 本製品は、サービス缶に残った冷媒ガス・オイル・蛍光剤・漏れ止め剤等を保存できません。サービス缶に残った状態で長期間放置すると、缶内のガス等が漏れます。開封した缶は使い切ってください。
- ・ 低圧クイックカプラ・チャージングホース・サービス缶バルブ・サービス缶を確実に接続した状態で車両エアコンシステムの低圧ポートに接続してください。また、車両接続前にサービス缶を開封しないでください。
- ・ 異なるサービス缶を使用する場合は、内部を清掃してください。

■ 各部名称

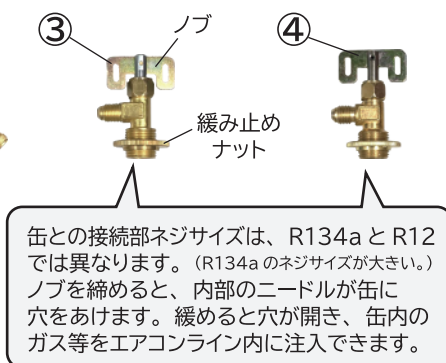
①	R134a用クイックカプラ(低圧)
②	チャージングホース(1.5m)
③	R134a用サービス缶バルブ
④	R12用サービス缶バルブ



① 車両低圧ポートに接続します。カプラを押し込んで接続し、スリーブを引き上げて接続解除します。



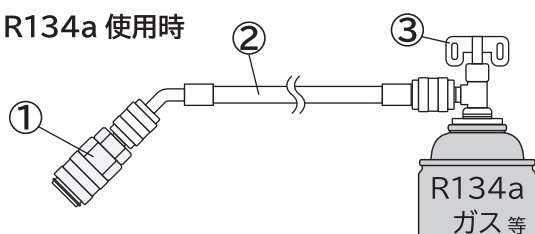
R12 車両に接続時、ムシ押しが入っているか確認し、接続してください。



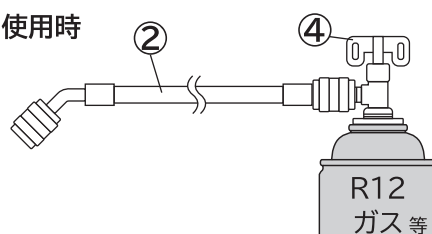
缶との接続部ネジサイズは、R134aとR12では異なります。(R134aのネジサイズが大きい。)ノブを締めると、内部のニードルが缶に穴をあけます。緩めると穴が開き、缶内のガス等をエアコンライン内に注入できます。

■ 接続について

R134a 使用時



R12 使用時



- ・ チャージングホースと各アタッチメントの接続は、工具等を使用せず手で締めてください。締めすぎると通気路が変形し詰まる原因になります。
- ・ 本製品はR12/R134a兼用のため、どちらの車両にも接続できます。必ずガスの種類を確認し、誤って充てんしないでください。
- ・ R12 車両に接続する時、ムシ押しがあることを確認してください。ムシ押しがないと充てんできません。R134a 車両に接続（クイックカプラを使用）する場合は、ムシ押しがあってもなくても通気し、使用できます。

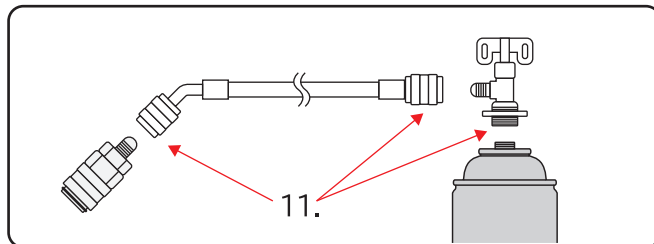
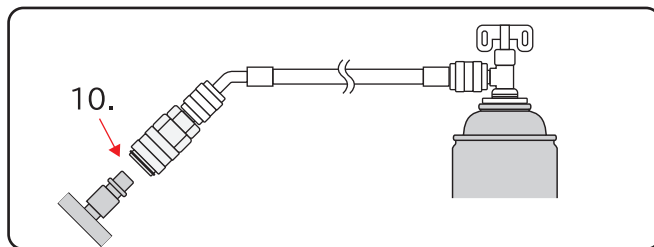
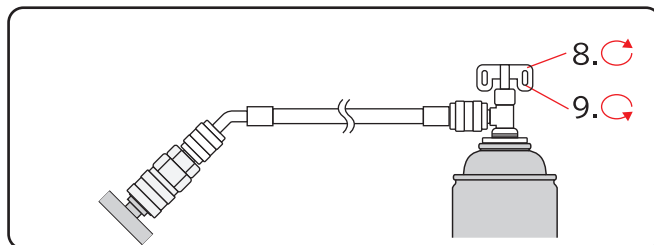
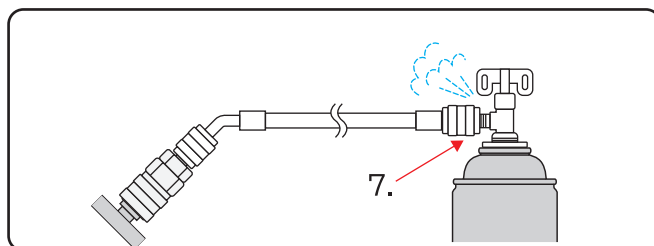
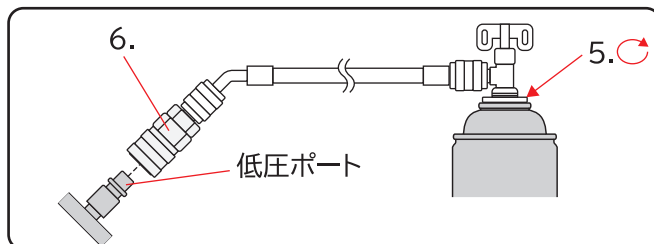
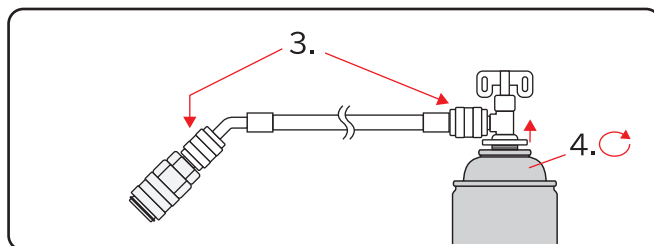
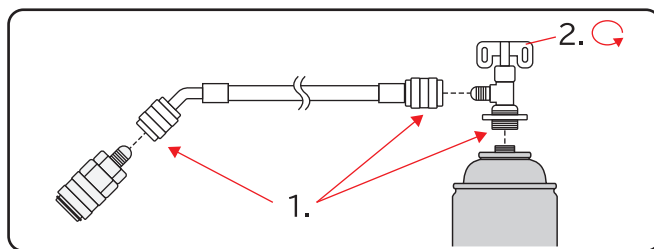
■ 使用方法 ＊使用例：R134a の場合



使用上の注意

- ・ R12車両に使用の場合、選択する部品が異なりますが、使用法は同様になります。
- ・ エンジン始動、他の機器の使用、サービス缶の取り扱い等は作業に応じて作業者の判断で行ってください。

1. 使用する前にチャージングホース、サービス缶バルブの缶接続部にあるパッキンの状態を確認してください。
＊損傷や欠品している場合はガスが漏れるため使用しないでください。
2. サービス缶バルブのノブをロックするまで緩めます。
＊缶に穴をあけないところまで緩めます。
3. チャージングホースにクイックカプラとサービス缶バルブを接続します。＊工具を使用せず手で締めます。
4. サービス缶バルブにサービス缶を接続します。
＊緩み止めナットを緩めてから缶を最奥まで確実に締め込みます。
5. 緩み止めナットを缶方向に締めてサービス缶を固定します。
6. 車両の低圧ポートにクイックカプラを接続します。
7. エアーパージをします。チャージングホースとサービス缶バルブの接続部をゆっくりと緩めてガスが噴出したらすぐ締めてください。その後、ガス漏れがないことを確認してください。
8. ノブを締め込んでサービス缶に穴をあけます。
9. ノブを緩めて、冷媒ガス（オイル・溶剤等）を車両エアコンシステム内に充てん（注入）します。この時、作業に応じてエンジンを始動します。
10. 充てんが完了したら、サービス缶バルブのノブを閉めてからクイックカプラを取り外します。エンジンが始動している場合は停止してください。
11. 作業が完了したら、各部品の接続を解除します。缶内にガスや溶剤等が飛散しますのでウエス等で押さえる等、注意してください。
＊冷媒ガスの場合、大気に出さないでください。必ず回収してください。



■ メンテナンス

- ・ サービス缶を外した状態で保管してください。
- ・ 使用前にチャージングホース、サービス缶接続部にあるパッキンの状態を確認し、損傷・変形・欠品している場合は使用を中断し、パッキンを交換してください。
- ・ サービス缶の内容物によっては、使用後にチャージングホース・クイックカプラ・サービス缶バルブの内部を清掃してください。詰まりの原因になる場合があります。

